

奉仕…それは感謝の気持ちから

Serve … from A Feeling of Thanksgiving

ガバナー 菅生 謙 三

この月信は、皆さんへの私の最後の公のお便りとなりました。長い間、お忙しい中をご覧いただき、本当にありがとうございました。

去る3月3・4両日、豊中市・市民会館で、豊中R.C.のホスト、豊中南、北両R.C.のコ・ホストの下に挙行されました地区年次大会、並びに去る6月10日、大阪R.C.のホストにより、大阪・ロイヤルホテルで開催されました地区協議会、この2大地区行事を、いずれも有意義な感動的の会合として成功裡に終了することができまして、やれやれと解放感、安堵感にひたっておりますと同時に、この1年間、皆さんから賜りましたご支援ご芳情のお蔭と、深い感謝の気持ちで一杯であります。

顧みますと私は、1975年7月、大阪北R.C.の会長に就任して僅か4ヶ月たった11月5日、地区ガバナー指名委員会が、不図も私を地区ガバナー・ノミネー候補者に推薦されたことを告げられ、当時痛く困惑したことを思い出します。

爾来、時の流れと手続きの進行につれて、地区ガバナーによってノミネーとして宣言され、次に地区年次大会で正式にノミネーに選出され、最後にサンフランシスコ国際大会で、次期ガバナーに選挙され、遂に1977年7月、国際ロータリー 第266地区ガバナーに就任することとなったのであります。

地区ガバナーに課せられた任務とはいえ、R.I.に対する定期的諸報告と共に、地区内84R.C.の公式訪問並びに10組のI.C.G.F.実施の過密な日程を消化する傍ら、定期的に発行すべき14回のガバナー月信掲載原稿の執筆、2回に亘る合同地区委員会、インターアクト及びロータリーアクトの地区年次大会、地区ロータリー情報研究会の実施は勿論、数次に亘るガバナー連絡会議、



菅生ガバナー夫妻・東京国際大会にて

ロータリーの友合同会議、米山記念奨学会評議員会議、国際ロータリー研究会等、東京或は千葉での諸会合への

出席は当然のこととして、更に地区最大行事である地区年次大会及び地区協議会を主宰する外、東京国際大会に出席する等、別紙「私のこの一年」に記載した如く、時間的制約、及び肉体的負担のみならず、精神的荷重は想像以上に甚だしく、われながらその思考力と行動力との限界能力を遙かに超える重い責務の遂行に全力投球を続けながら、幸いにして大過なく、しかも健康を保持して、今日その任務を終らんとしているのであります。

全く超人的な不可思議な人生経験を記録したものであるべきでしょう。

このような異常ともいえるべき体験は、果たして何によって記録されたのでしょうか？

私は、本ロータリー年度の年初に当って、ジャック・デービスR.I.会長のテーマ“全人類を結びつけるために奉仕せよ”に“奉仕…それは感謝の気持ちから”と、おこがましくもサブ・テーマを掲げさせて頂き、皆さんのご賛同とご協力とを訴えて参ったのでありますが、実はこのサブ・テーマは、私自身に対するガバナーとして皆さんにご奉仕申し上げる際の指針ともいたしたいと念じて参った次第でもあります。

感謝の気持ちを胸中深く秘めることなくして、又、勤くとも感謝の気持ちを持ちたいと努力精進することなくして、どうしてこのような苛酷ともいえるべき地区ガバナーの責務を奉仕し果し得ましょうか？

とはいえ私は、何よりも先づ、地区内84R.C.の5,263名の会員の皆さんから、陰に陽に私に注がれました友愛のお気持ち、思いやりのご心情の賜物、このような暖かいご後援に支えられてこそその結果に外ならないと、強く確信するものであります。

地区ガバナーとしての重い責務と裏腹に、私はこの1年間、地区内ロータリアンの一人一人と直接お目にかかって、親しくご挨拶を交し、フェロー・ロータリアンとしてのご交誼を賜り



得ましたガバナーにのみ恵まれましたこのような特典を、初めて身をもって体得し得たのであります。ガバナーとは、何んとありがたい役職でもあるものかと、つくづく身の果報に感謝している次第であります。

さて退任に当って、地区の現況をご報告して置きたいと存じます。

(1) ロータリーの拡大は、有田南、大阪梅田、両R.C.が1977年7月30日付で、更に四條畷R.C.が1978年2月3日付で、夫々R.I.に加盟承認され、現在84R.C.と拡大されました。

(2) 会員の増強につきましては、
増加クラブ……58 増加人数…… 316名
減少クラブ……12 減少人員…… 23名
増減ないクラブ……14
純 増 …………… 293名
増加パーセンテージ 4,970 - 5,263 5.89%
と、相当の成績をおさめ得ました。

(3) 顕著な奉仕活動として、
大阪東R.C.が、英字点訳本“日本のむかしばなし”の製作と、その海外R.C.への贈呈が、意義ある業績賞を受賞し、

大阪西南R.C.が、姉妹クラブ北釜山R.C.と共同して、韓国釜山地区農村開発W.C.S.計画を実施した業績、及び

大阪南R.C.が、大阪市内都市環境美化緑化運動とポケット公園を設置推進した業績が、

夫々意義ある準業績として、本年度特にガバナー表彰を受けたことが挙げられ、その他、多くのクラブから顕著な業績が申請されまして、誠に喜ばしい次第でした。

(4) 週報優秀クラブとしては、
池田、大阪、大阪城東、大阪難波、大阪住之江、大阪天満橋、堺、堺東、田辺の9R.C.が選考され、地区年次大会で表彰されました。

(5) クラブ会長の指導力は、
各クラブ共、非常に効果的に発揮され、クラブサービス部門において、特にクラブの管理組織の整備強化、ロータリー情報の浸透化、クラブ細則の自主的検討改正等、多くの面において実績を上げられたと思えます。

(6) 職業奉仕部門では、
不況下における職業奉仕の在り方について、真剣な検討が加えられたことは、特記すべきものといえましょう。

(7) 社会奉仕部門については、
ロータリアン個人個人の奉仕活動の再認識が強化されると共に、資源環境問題への取り組み

方が、活発になったことは事実であります。

(8) 青少年奉仕活動は、
ローターアクト、インターアクト両クラブの育成指導に、真摯な努力が払われ、又、青少年学生交換が非常に活発化して参りましたことは、R.I.会長のテーマに添ったものと存じます。

(9) 国際奉仕部門では、
R.I.会長のテーマの下に、特に東京国際大会の開催を好機として、組み合わせ地区及びクラブプログラムの推進、世界社会奉仕計画の認識と増進、姉妹クラブ関係の活動の積極化と共に、本年は特にベトナム米山奨学生に対する奨学金受給資格終結後の特別支援計画について、各R.C.のご理解あるご賛同を頂き、当地区独特の人的施策として、高く評価されて然るべきものと、自負している次第であります。

(10) ロータリー財団部門としては、
地区800%、一人当たり\$50の目標を掲げて、会員皆さんの自発のご協力を訴えて参りましたが、概ね所期の目標を達成することができました。

特に本年はG.S.E.チームの受け入れの年に当っておりましたので、早期周到な計画準備と各R.C.の積極的なご支援とによって、極めて有意義に成功裡に1ヶ月半の全日程を消化し、“全人類を結びつけるための奉仕”として、誠に効果的であったと確信いたします。

財団奨学生の推薦につきまして、各R.C.共極めて積極的で、多くの優秀な候補者の中から7名の適格者を選考するのに、大変苦勞いたし、全く嬉しい悲鳴をあげた次第です。

以上、地区及び地区内R.C.のロータリーの奉仕活動を概観いたしまして、つくづく感ずることは、皆さんがマンチェスター前R.I.会長の言われる通り“ロータリーを信奉”して居られる例証に外ならないと思うのであります。

茲に改めて、地区内全ロータリアンの皆さんに対して、衷心から深甚な感謝の意を表したいと存じます。

又、地区内ロータリアンの中から、ご多忙ご迷惑ながら地区組織としての各種委員を多数ご委嘱申し上げましたが、皆さんは地区委員会の諸活動につきまして、超我のご奉仕を賜わり、誠にありがたく、特に感謝申し上げなければなりません。

何んと申しましても、藤沢直前ガバナーを初め、パスト・ガバナーの諸先輩の方々の温いご指導ご支援に対し、申し遅れて恐縮ですが、深くお礼申し述べますと共に、益々ご健勝に渉ら

せられんことを祈念いたします。

本年は特別の試みとして、地区幹事を私のホーム・クラブの会員だけでなく、広く各クラブのベテランロータリアンにご委嘱申し上げましたところ、松村代表幹事を初め、幹事の皆さんは、ご多忙のところを度々お集り頂き、地区全般の管理運営につきまして、大変力強いご協力を忝うし、地区ロータリー活動の推進に多大のご貢献を賜りまして、本当にありがたいことと厚く感謝申し上げる次第であります。

今、私は、地区ガバナーの職を退くに当って、ノミニー時代を含めて2年10ヶ月間の重苦しかった数々の思い出が、走馬燈のように目の前に浮かんで参ります。だがしかし、それと同時に、

皆さんと長い間、親しくおつき合いをさせて頂いて、賜りましたご教示、ご好意、ご友情……それに伴う心温まる数々の感動が、苦しい思い出を押しつけて、私の心の中に奥深く持ち続けられているのであります。何んと倅せなことでしょう。この感謝の気持ちを持ち続け、更に育みつつ、私の余生における一ロータリアンの心の灯火として、大切にして参りたいと念じて居ります。

皆さん、今後とも何卒よろしくご交誼賜りますようお願い申し上げますと共に、末筆ながら、皆さんの一層のご健勝とご精進とを願ひたし、お別れの感謝のご挨拶といたします。

(1978. 6. 30 記)

菅生ガバナーのこの一年(ノミニーの時の一部を含む)

SUGO Governor's This One Year

編集 地区幹事 村田悦蔵(大阪北R.C.)

月 日	行 事	月 日	行 事
1975. 7. 1	大阪北R.C.会長就任	1977. 7. 1	国際ロータリー第266地区ガバナーに就任
11. 5	地区ガバナー指名委員会により、1977～78年度地区ガバナー・ノミニー候補者に推薦	〃	ガバナー、パストガバナー懇談会(ホテル・パシフィック)
1976. 2. 11	ローターアクト東南アジア研修旅行参加	〃	ガバナー月信第1号発行(デービス会長のテーマ、ガバナー就任の挨拶、藤沢直前ガバナーへの感謝、クラブ一覧表、地区組織図表、年間カレンダー、公式訪問日程、I.C.G.F. 予定表)
3. 15	月信により平井ガバナーは地区ガバナー・ノミニーに宣言	7. 2	第2回ガバナー連絡会議(ホテル・パシフィック)
4. 16	地区年次大会第1日の本会議において地区ガバナーに正式に選出	7. 5	豊中R.C.公式訪問
5. 5	地区ローターアクト年次大会(和歌山)出席	7. 7	大阪大淀R.C.公式訪問
1977. 2. 1	ガバナー・ノミニー事務所を阪急ターミナル・ビル17Fに開設	7. 8	大阪R.C.公式訪問
2. 8	第5回R.I.ロータリー研究会出席(千葉県鴨川)	7. 9	第1回合同地区委員会(新阪急ホテル)
4. 16	ガバナー・ノミニー・オリエンテーション(東京ステーションホテル)	〃	第1回諮問委員会(新阪急ホテル)
5. 1	地区現況報告、R.I.宛作成	7. 11	大阪西R.C.公式訪問
5. 14	大阪伊丹空港発、東京へ	7. 12	貝塚R.C.公式訪問
5. 15	東京羽田空港発、米国へ	7. 13	池田R.C.公式訪問
5. 24	米国フロリダ州ボカ・ラトーン国際協議会出席	7. 14	堺R.C.公式訪問
6. 2	米国・サンフランシスコ 規定審議会出席	7. 15	泉大津R.C.公式訪問
6. 3	米国・サンフランシスコ 国際大会出席	7. 15	ガバナー月信第2号発行(第1回合同地区委員会での挨拶、本年度の活動方針)
6. 4	米国・サンフランシスコ 国際大会出席	7. 16	地区インターアクト年次大会(ホスト・河内長野R.C. 清教学園I.C.)
6. 11	帰阪	7. 20	羽曳野R.C.公式訪問
6. 18	地区協議会(ホスト・大阪北R.C. ロイヤルホテル)	7. 21	大阪平野R.C.公式訪問
		7. 22	大阪淀川R.C.公式訪問
		7. 23	地区雑誌委員長会議(ホテルプラザ)